

# NPO 緑の会

特定非営利  
活動法人  
NPO 緑の会  
取手市  
小文間  
3838-1  
TEL 0297-  
72-8791



## EMにご縁があった不思議さに深い感謝



恒川敏江理事長

(最高齢は八十歳)の元気な高齢者の皆さんです。コン茶等の販売にも引き続き頑張っています。

これは私達がNPO緑の会立ち上げ時の希望で、施設を、高年齢者を元気にとの思いで実現している活動の中心の部分です。絶対にコロナは出さないと、思いでマスクや消毒は勿論、活性液の散布も行っており、更にこのコロナ下、昨年八月三日、取手市では「取手市気候非常事態宣言」を出され、私達の活動に大きなエールを頂いた思いで、新たに現在の回収地区内(青柳と井野団地の一取部)に参加者募集の活動を始めました。

元号が改まって二年目の昨年は、オリンピックに沸き、国内景気はもとより明るい大きな期待が高まっていた矢先、一転「新型コロナウイルス」の急速な蔓延により、下向きの空気が広がり、連日ニュースはコロナ関連の内容が多くなり、現在第三波と言われる状況となっております。

さて今年の抱負ですが、私たちの中心的事業であります「食品リサイクル堆肥化事業」(事業名称がこの様に変更されました。)を担う人力は七十歳前後

また「水質浄化事業」は認定NPO法人地球環境共生ネットワークから依頼の日本橋川浄化事業、石岡市から受託の東の辻池生活排水浄化事業、取手市相野谷川の浄化活動の継続等を昨年に引き続き進めてまいります。この他、EMファ

また「水質浄化事業」は認定NPO法人地球環境共生ネットワークから依頼の日本橋川浄化事業、石岡市から受託の東の辻池生活排水浄化事業、取手市相野谷川の浄化活動の継続等を昨年に引き続き進めてまいります。この他、EMファ



恒川 敏江 理事長

### 取手市「取手市気候非常事態宣言」を発令、10月20日(火)取手市長を訪問し生ごみ回収協力を要請

取手市気候非常事態宣言 (29) 号  
令和三年 10 月 4 日

取手市長 藤井 信吾  
(前掲写真参照)

「食品リサイクル堆肥化事業」に際してご協力をお願い

平素は市政及び産業廃棄物処理事業にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、取手市を含む宮城県地方広域市町村圏事務組合では、二酸化炭素を目的として対象となる地区において「食品リサイクル堆肥化事業」を実施しております。これは、宮城県地方広域市町村圏事務組合がNPO緑の会に委託して、原簿から出る生ごみを収集し、施設で加工された堆肥を参加者に還元するものです。ごみ減量という観点から取手市もこの事業を積極的に推進しております。

つきましては、この機会に是非「食品リサイクル堆肥化事業」に参加していただきますようお願いいたします。

＜この文章に対するお問い合わせ先＞  
取手市役所環境政策課 食品リサイクル推進課 南巻課  
TEL 74-2141 内線1418

＜「食品リサイクル堆肥化事業」に関するお問い合わせ先＞  
NPO緑の会 恒川 (0297-72) 72-8791, 099-8319-9290



藤井信吾市長と記念撮影



幹部の方々も含めた会談

取手市では、本年8月3日に「取手市気候非常事態宣言」を発令しました。その中の二酸化炭素をゼロにする取り組みに、生ごみを堆肥化することでNPO緑の会が貢献できる為、市に協力を要請したところ、12月4日付で、地域市民の皆様に対し「食品リサイクル堆肥化事業に参加ご協力をお願い」を藤井信吾市長名で発していただきました。市の協力を得、参加者拡大に向け協力世帯募集活動を開始しました。12月13日、14日で百三十世帯にポスト

1000年後も 2000年後も緑豊かな美しい地球であってほしい!

## 「阿見緑の会」の活動をご紹介します ～資源循環型社会を目指し協力しあう姉妹クラブです～

### 【これまでの活動】

- 1995 年「生ごみをリサイクルしよう」という目的で循環型社会を目指した任意団体「阿見緑の会」を発足。
- 2002 年 阿見町役場、シルバー人材センター、阿見緑の会三者連携、NPO 緑の会の支援で「生ごみを回収、堆肥化モデル事業」を 5 年間継続した。
- 2006 年 阿見町本郷小学校で環境学習の依頼があり、給食残飯を利用の「生ごみリサイクル」「ボカシ作り」「コメのとぎ汁 EM 発酵液」の作り方等の講習を行った。その後 3 校に増え環境授業を行う。
- 2010 年 水質浄化活動として阿見町、小・中学校全 11 校でプール環境授業を行い、EM 活性液の投入を行った。
- 2011 年 阿見町を源流とする「清明川」へ EM 活性液の投入を始める。
- 2017 年「耕作放棄地の再生」を目的として、生ごみ堆肥を利用した花、野菜作りを開始。
- 2020 年 阿見町が小・中学校の統廃合をして全 8 校となる。8～9 月に 1 校当たり 300ℓ の EM 活性液を投入した。  
※代表：石川泰子様 (NPO 緑の会理事兼任) 現在会員数 男 3 名 女 6 名 合計 9 名



石川泰子代表



プールへ活性液投入に参加の皆様



【小・中学校のプールへの EM 活性液投入は 2010 年から、今年も継続予定】

## TOPIX: 堆肥場を訪問された方々のご紹介と関連団体の総会報告

EM 研究機構の新谷正樹氏、國廣真理枝氏、齋藤沙氏が NPO 緑の会を視察 (10 月 2 日)



新谷正樹先生から「昨日は急な視察のお願いにもかかわらず、快く私どもの視察を受け入れてくださりありがとうございます。平成 6 年に設立された貴会が 25 年以上続き、貴会の活動が発展している理由が、昨日お話しして頂いた内容や数々のエピソードから知ることができました。本当にありがとうございます」との、お礼状をいただきました。  
國廣 (東原口) 真理枝様と齋藤沙様からもご丁寧なお礼状が届き、今後も NPO 緑の会の活動の視察、取材に伺いたいとの事でした。  
齋藤沙様は 10/26 の整流ブロック作りにも参加し汗を流してくれました。



常総地方広域市町村圏事務組合の事務局長と管理課課長補佐が堆肥場を視察 (6 月 30 日)

6 月 30 日に、常総地方広域市町村圏事務組合の山中毅事務局長と、管理課の浜野猛課長補佐が堆肥場を視察されました。

恒川芳克理事と若林正子理事が対応しましたが、工場に入るとすぐに「ちょっと臭いがしませんね」と驚きをもって発せられた言葉が非常に印象的でした。EM の面目躍如です!



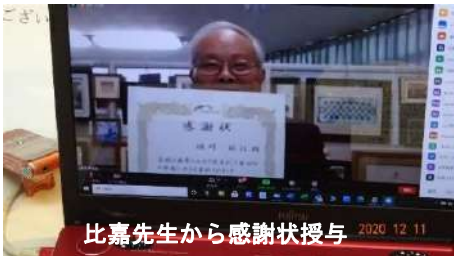
6 月 28 日「霞ヶ浦をきれいにする会」総会開催 → 「霞ヶ浦をきれいにする連絡会」へ発展的に継承



「霞ヶ浦をきれいにする会」を解散し、「霞ヶ浦をきれいにする連絡会」を設立。他団体との協力を深める事を決議しました。事務局を置き、世話人には鈴木俊夫さんが就任されました。今後会費はなく、年 1 回の会合を持つこととしました。

WEBによる「認定NPO法人地球環境共生ネットワーク（U-ネット）」総会（12月11日）

新型コロナウイルスの影響で、2019 年度の総会が年末にずれ込みWEBで開催されました。議案がすべて承認された後、7 名の退任役員に比嘉照夫先生から感謝状が贈られ、代表して恒川敏江NPO緑の会理事長が感謝の言葉を述べられました。その後、熊本での洪水後の活動報告や、新谷正樹先生と比嘉照夫教授の講演等があり無事終了しました。



比嘉先生から感謝状授与



コロナ禍の中、感染を予防しながら継続した事業や作業及び行事（7月～12月まで）

10月17日 2/15以来、8か月ぶりの定例会を開催（於：かたらいの郷）



参加者の皆様



恒川芳克理事の報告



会員の大澄さんの報告

3月から開催の自粛をしてきましたが、市営「かたらいの郷」も使用可能となりましたので、8か月ぶりに定例会を開催。17名が参加しましたが、年内は今回だけとし、次回は未定です。

9月17日 シルバーさん達によるもみ殻採集作業

真夏の堆肥場草刈り作業



もみ殻 12 袋を採集



1000年後も 2000年後も緑豊かな美しい地球であってほしい！

10 月 4 日 東の辻浄化作業

例年通り EM 団子投入と活性液散布作業を行いました。令和 3 年度も継続。



カルガモの親子

江戸川区での EM 活性液仕込作業及び日本橋川浄化作業は通常通り



作業中の鈴木勝也理事



令和 2 年も江戸川区での EM 活性液仕込作業と日本橋川での浄化作業を毎月 2 回、鈴木勝也理事と関崎洋平氏が受け持って継続しています。



EM 活性液を投入

新型コロナウイルスの蔓延により、令和 2 年は様々なイベント・作業の中止を余儀なくされました

残念な状況の中、ウィルスに一人でも罹れば即中止となる生ごみ回収・堆肥化作業は、シルバーさんたちの頑張りによって無事継続しています。しかし、会員の皆様がボランティアで参加している EM 団子作りと完成堆肥の梱包作業は中止。10/26 から 3 回だけ整流ブロックつくりにご参加・ご協力いただきました。



久しぶりに参加された皆様



10/26、11/9、11/23、12/14 の 4 回を作業日に予定し、密を避けるため 2 組のグループに分け対応しましたが、12/14 は茨城県からの外出抑制指示により中止を余儀なくされました。

【今年の生ごみ提供者への堆肥配布は 3/11~3/13 を予定】



生ごみ回収の為に準備作業



編集後記  
ウィルスに一人でも罹れば生ごみ堆肥化作業が即中止せざるを得ない状況の中、感染予防をしながら頑張っているシルバーさんたちに敬意を表します。また会長のご挨拶にもありましたように、比嘉照夫先生のおかげで EM に出会えたことに深く感謝すると共に、少しでも活動に加わっていることを誇りに思っています。今後も EM 生活を  
岸本義幸

NPO 緑の会の会員になるには

- 正会員：会費 3,000 円/年 活動もできる方 (総会での議決権有)
- 賛助会員：会費一口 3,000 円以上 会費で協力 (総会での議決権はなし)
- お問い合わせ先：TEL：090-9015-7426 (恒川理事長)
- Eメール：npo-mido@trust.ocn.ne.jp